

学力の把握に関する研究指定校事業実施計画書（平成 21 年度）
高等学校用

都道府県番号（ 37 ）都道府県名（ 香川県 ） 公立・私立・国立（ で囲む）

1 学校の概要

(ふりがな) 学 校 名	かがわけんりつたどつこうとうがっこう 香川県立多度津高等学校					校長名	織 田 博
所 在 地	〒 764 - 0011 香川県仲多度郡多度津町栄町一丁目1番82号 TEL 0877(33)2131 FAX 0877(33)2132						
設置する課程	全日制					教 員 数 (H21.4.6現在)	
学 科 名	生 徒 数 (H.21.4.6現在)					国 語 :	5名(専門教科)
	1年	2年	3年	4年	計	地 歴 :	機械科 : 9名
機 械 科	37	23	34		94	公 民 :	4名 電気科 : 10名
電 気 科	26	30	34		90	数 学 :	5名 土木科 : 6名
土 木 科	35	29	29		93	理 科 :	4名 建築科 : 6名
建 築 科	35	33	34		102	保 体 :	6名 海洋技術科 : 11名
海洋技術科	31	23	29		83	芸 術 :	2名 海洋生産科 : 7名
海洋生産科	30	28	23		81	外 国 語 :	5名
						家 庭 :	3名
						情 報 :	0名
合 計	194	166	183		543	計	83名

2 研究計画等

研究主題等	(1) 学習指導要領に定める目標等の実現状況の把握に関する研究		教科名	工 業
	研究主題	電気機器及び建築構造設計における評価基準による学力の把握に関する研究		
	研究を行う主な領域, 内容項目, 評価の観点等	20年度	電気機器「変圧器」及び建築構造設計「構造物に働く力」で、工業に関する四つの観点の「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「技能・表現」及び「知識・理解」について、昨年度作成した評価基準及び具体的な評価方法を検証して、今年度実践する。そして、成果の評価・改善結果を研究協議会で公表をする。さらに他の教科においても同様に実践する。	
	21年度			

平成20年度の成果と課題

昨年度の実施内容においては、多様化した生徒の能力差にじゅうぶん配慮しながら、分かる授業を取り入れた。すなわち、各時間における指導内容において、生徒が受け身ではなく主体的に参加する授業（例 質問に対して最後まで答えさせる。できるだけ多くの生徒に内容確認等の発問をする等）を行った。

そのことにより、生徒の理解度も深まり授業の満足度も高まった。
本年度の課題として、生徒の理解度を調べる方法を検討し実践しようと考えている。

平成21年度の研究計画

(1) 本年度の調査研究の重点やねらい等

昨年に引き続き、分かる授業を目指した授業の改善をはかりたい。そのためにはどのような改善が必要かを検討し実践したい。また、昨年度新たに作成した、評価基準および評価方法について実践・検証し、さらに改善して研究最終年を迎えたい。

(2) 研究内容及び研究方法等

時期	研究内容及び研究方法等
1学期及び2学期	電気機器「変圧器」及び建築構造設計「構造物に働く力」で、工業に関する四つの観点である「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「技能・表現」及び「知識・理解」について、昨年度作成した評価基準及び具体的な評価方法を検証し今年度も実践する。そして、各観点別の基準値を向上させるために授業において次の項目を取り入れる。 1．基礎学力を補うために数学科と連携する。 2．評価が効率的に行えるようノートの改善をする。 3．自己評価及び授業評価の内容の改善をする。 4．器具の実物や写真などを多く取り入れた説明をする。 5．生徒がよりいっそう授業に参加するために、小テストや練習問題を取り入れる。 以上5項目を重点に実施したい。

(3) 成果のまとめや普及の方法等の見通し

研究内容及び研究方法にのっとった実践を進めながら、各授業時間に得られたデータを基に検証し、その結果を踏まえて授業を進めていくことで観点別の向上を目指したい。そして、その成果の評価・改善結果をまとめて研究協議会で公表し来年度に生かしたい。

さらに、昨年度他の教科・科目において見直された評価基準との連携を深めて、お互いの授業内容の向上を目指したいと考えている。

ここまでをA4判用紙、縦長、片面2枚程度に収めて作成してください。

別紙 4 (学力の把握に関する研究指定校事業)

経費積算見込表 各学校ごとに記載してください。
 都道府県名 (香川県) 公立 ・ 私立 ・ 国立 を付けてください。
 学校名 (香川県立多度津高等学校)

経費区分	金額(円)	積算内訳
1. 諸謝金	13,980円	講師謝金(鳴門教育大学教授) 6,990円×2h×1人×1回=13,980円
2. 旅費	146,840円	協議会出席旅費(県教委指導主事分)<高松市~東京> 51,280円×1人×1回=51,280円 協議会出席旅費(実施校分)<まんのう町~東京> 47,780円×1人×2回=95,560円
	7,660円	講師旅費(大学教授)<鳴門市~多度津町> 7,660円×1人×1回=7,660円
3. 消耗品費	14,070円	用紙代 更紙 A4 590円×5枚=2,950円 コピー用紙 A4 400円×5束=2,000円 印刷用品代 インク 2,600円×2本=5,200円 記録用品代 チューブファイル 650円×5個=3,250円 消費税及び地方消費税 670円
4. 印刷製本費		計上なし
5. 会議費		計上なし
6. 通信運搬費		計上なし
7. 図書購入費		計上なし
合計	182,550円	内訳 ・協議会出席旅費(事業経費への上乗せ分)合計額 146,840円 ・事業経費合計額 35,710円

別紙 4 (学力の把握に関する研究指定校事業)

経費積算見込表

各学校ごとに記載してください。

都道府県名 () 公立 ・ 私立 ・ 国立 を付けてください。
 学校名 ()

経費区分	金額(円)	積算内訳		
1. 諸謝金		円×	人×	回 =
		円×	人×	回 =
		×	×	=
2. 旅費		協議会出席旅費(事業経費への上乗せ分)		
		円×	人×	回 =
		円×	人×	回 =
3. 消耗品費			円×	個 =
			×	=
			×	=
4. 印刷製本費			円×	部 =
			×	=
			×	=
5. 会議費		円×	人×	回 =
		×	×	=
		×	×	=
6. 通信運搬費			円×	個 =
			×	=
			×	=
7. 図書購入費			円×	冊 =
			×	=
			×	=
合計		内訳	・協議会出席旅費(事業経費への上乗せ分)合計額	
			円	
			・事業経費合計額	
			円	